21世紀の地球社会に向けて あなたは何を志しますか？

1998 地球「市民」アカデミア

国際協力・国際教育リーダー「地球市民」塾　第Ⅴ期生募集要項

共催
東和大学国際教育研究所
NGO活動推進センター（JANIC）
東京YMCA国際奉仕センター

協力
（予）アジア学院
開発教育協議会
アカデミア・ナッツ

会場
東京YMCA国際奉仕センター

●募集要項●

自分自身が持つ課題を見つめ直し深めていくことは、「これから、どう生きていくか」、あなた自身の「生き方」を問い直していくことです。
ともに「地球市民」として生きていくことを学びましょう。

開催期間
1998年5月～1999年2月
（全21回・合宿3回を含みます）

募集対象
①将来、国際協力や国際教育の分野で活動したいという意欲を持つ人。
②原則として全回参加できる人。
③18歳以上の人。
④他の受講生と協力しながら受講できる人。

参加費用
98,000円（税別）
（費用には登録費、受講料、3回の合宿費用、資料代などが含まれます。）

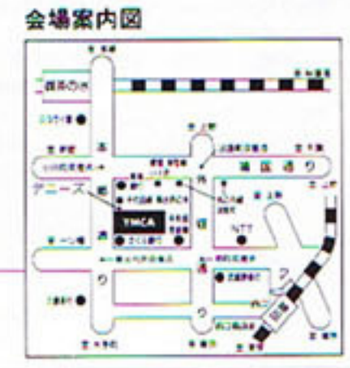
定員
45名
（書類による選考をさせていただきます。）

募集締切
4月27日消印有効

申込方法
指定の申し込み用紙を記入の上、裏面に「私の考えるこれからの国際協力（または国際教育）」「地球市民とは？」「私の考える平和とは？」というテーマの中から1つを選んで作文を書き、下記にお送り下さい。合否結果及び参加費用の納入については申込後別途ご案内致します。

●JR　神田駅 出口［南口、北口］
お茶の水駅 出口［聖橋口］
●地下鉄　丸の内線 淡路町駅 出口［A-2・A-4］
千代田線 新お茶の水駅 出口［B-5］
都営新宿線 小川町駅 出口［A-5］
総武線 神田駅 出口［北口］

会場案内図



お申し込み・お問い合わせ
「地球市民アカデミア」事務局
〒101-0053 東京都千代田区神田美土代町7 東京YMCA国際奉仕センター内
TEL:03-3293-7011　FAX:03-3293-8474

主催団体紹介
「地球市民アカデミア」はこれら3団体の主催です。

東和大学国際教育研究所
東和大学国際教育研究所は、国際問題や地球的諸問題への洞察力と解決力を有する地球市民の養成に関する研究と実践を機軸にすえています。また、国際協力や国際教育の調査研究にも取り組んでいます。1998年1月からは、持続可能な社会づくりのための市民ネットワーク「未来のための教育推進協議会」事務局を担当しています。

NGO活動推進センター（JANIC）
地球社会が直面する開発・環境・人権などの人類共通の課題に取り組む市民組織（NGO）の活動支援を目的に1987年に設立。主な活動は、NGO間のネットワーキングやNGO活動に関する情報の収集及び提供、広報・調査研究、人材育成などをはじめ、海外NGOとの情報交換及び協力関係の促進などです。

東京YMCA国際奉仕センター
YMCAは「青少年の健全育成」「豊かな地球社会の形成」そして「平和な世界の実現」をめざしている青少年団体・社会教育団体です。国際奉仕センターでは、バングラデシュYMCA、アメリカ・フロストバレーYMCA、中国・北京YMCAとの協力関係を通して、青少年の国際理解を高め、交流・協力活動を行うことなどを目指しています。

協力団体紹介
様々な団体の協力を得ながら、広いネットワークの中で「地球市民アカデミア」は進められています。

アジア学院
アジア学院は、アジア・アフリカ諸国から来た研修生が、農村地域社会の人々の生活向上と安定のために献身しようと、食糧の生産の基本、農村生活改善、そしてよりよいコミュニティづくりを生活体験を通して学んでいく、農村指導者専門学校です。

開発教育協議会
開発教育協議会は、日本における開発教育の推進を目的として1982年に結成された民間の連合体組織です。各地で取り組まれている開発教育をネットワークし、必要な情報を伝達し、その試みや動きを側面から支援することを役割としています。機関誌やニュースレターの発行、情報センターの設置、全国研究集会、ワークショップ、地域セミナーなどの開催を行っています。

アカデミア・ナッツ
ナッツは「結び目」という意味です。地球市民アカデミアの修了生たちが、それぞれの違った道を歩きながらも、その結び付きを続けていこうと組織されたグループです。主な活動としては、ニュースレターの発行、共働学習に基づいた学習教材（「食べ物から世界が見える」等）の開発、地球市民アカデミアの活動支援などです。

＊デザイン協力：H. Yokoo

「地球市民アカデミア」はこうして生まれました！

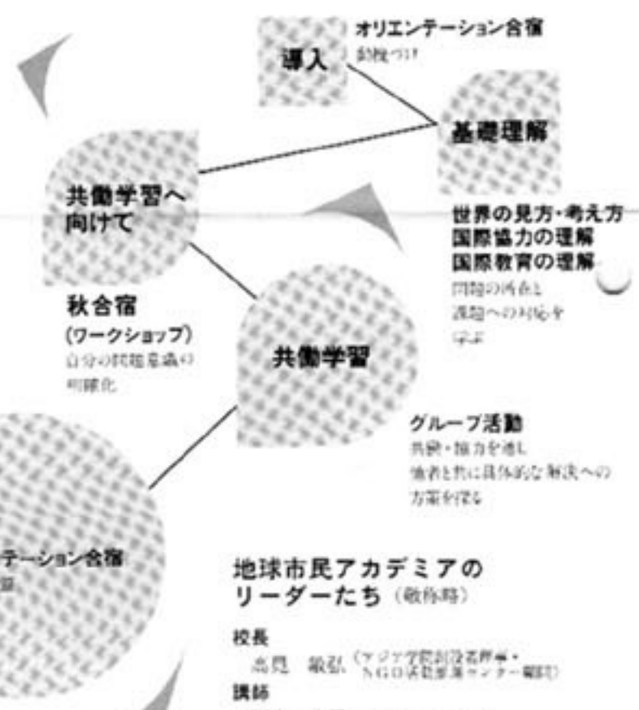
貧富の格差の拡大、高まる地球環境への危機感、民族紛争の激化など、世界をめぐる状況はますます深刻化しています。
国際協力、国際貢献への関心の高まりとともに、
そうした分野での活動を志す人たちもますます増えてきました。
「地球市民アカデミア」はそのような人々への新しい学びの場です。

共働学習を通じた新しい学びの場を求めて
従来、講座というと座って講義を受けるというイメージがありました。しかし、実際に国際協力、国際教育を実践していくには、知識や情報をただ身にまとうだけでなく、それらをメッセージやアクションに変えていくことが必要です。そのためには、実体験や試行錯誤を通じて受講者同士が互いに学び合う場が必要となります。「地域市民アカデミア」は、そんな今までにない新しい学びの場をめざしています。

21世紀の地球社会に求められる人間像を求めて
第三世界への「援助」に対する様々な意見からも分かるように、異なった社会状況の中、厳しい条件の下に生きる人々と共に生きようとすることは、学問の枠におさまりきるものではありません。21世紀の地球社会に求められるのは、いわゆる開発途上と言われる国々に生きる人々を、援助や研究の対象として見るのではなく、同時代を共に生きる人間として理解し合い、共感できる力と感性を持った地球市民なのです。

「地球市民アカデミア」のゴール
この講座が目指すものは、将来国際分野での活動を志す者が、現在の社会状況を正しく探索し、自分自身が社会のために何ができるかを考えることを通して、自分自身の価値観を問い直し、意識の変革を促していくことです。必要な専門知識や物の見方を学ぶと同時に、国際協力や国際教育に携わる人々の経験に学び、実際にNGOなどを訪問して、現実感のある国際協力・国際教育を学びたいと思います。あなた自身がなぜ国際協力、国際教育が必要であると考え、どう関わりたいのか、また何ができるのかを深く掘り下げることをめざします。さらに、これからの社会を創っていく上で大切な、他者との協力関係の築き方を共に学びます。

「地球市民アカデミア」の流れ



地球市民アカデミアのリーダーたち（敬称略）

校長
高見　敏弘（アジア学院副設置理事・NGO活動推進センター顧問）

講師
阿木　幸男（国際力トレーナー）
上村　英明（市民外交センター）
さくら　ゆみ（キャンペーン・ディレクター）
ポップ・ライツ（ルネ大学）
横原　彰（国学院大学）
志田　昇治（グリンピース・ジャパン）
清水　俊弘（特定地域平和キャンペーン・日本国際ボランティアセンター）
津田　政明（ピース・ウィンド）
三浦　千秋（立教大学）
横山　正樹（フェリス女子学院大学）

企画・運営委員
赤石　和則（東和大学国際教育研究所）
磯野　昌子（東和大学国際教育研究所）
伊藤　道雄（NGO活動推進センター）
上田　啓子（東和大学国際教育研究所）
桜井　高志（桜井・浜名グローバル教育研究所）
戸田　京子（東京YMCA国際奉仕センター）
浜口　憲司（東京YMCA国際奉仕センター）
山西　優二（早稲田大学）
湯本　浩之（開発教育協議会）
地球市民アカデミア修了生代表

1年間のカリキュラム　今年のキーワード：「平和」～"積極的平和"実現のために～

「戦後の世界大戦、ベトナム、パキスタン、アフガニスタン、カンボジア、パレスチナ、ユーゴスラビア、ルワンダ、北アイルランド……、「20世紀は戦争の世紀だった」と言うことができるほど、私たちの生きるこの地球には戦火の絶える日がありません。政治・宗教・民族・文化の違い、お金や権力をめぐる争いのために、今も多くの命が失われています。また、平和憲法を掲げる日本でも、受験戦争・経済戦争・交通戦争といった戦争、いじめや校内暴力・家庭内暴力・差別などによって多くの人々が傷ついています。

「平和」とは単に「戦争がない状態」を言うのではなく「社会正義・公正が実現した世界の状態」をさす（＝積極的平和）という考え方があります。そういう意味では、国内外の開発や環境、人権といったさまざまな問題に取り組むNGOの活動も、平和を実現するための活動だと言うことができます。第Ⅴ期地球市民アカデミアでは、政治・経済・文化・思想・教育といった様々な視点を切り口に、国と国、集団と集団、個人と個人の間の関係から平和の意味を深く考え、国際平和から心の平和まで、その実現ための行動の糸口を探りたいと思います。

1　5／22(金)～24(日)
オリエンテーション合宿
講師：高見敏弘
「地球市民とは？平和とは？」そう考える前に、アジア学院の門をくぐってみませんか？土や緑や命に触れることで「アジア」を発見することでしょう。2泊3日の合宿ではアジア学院に体験入学し、農作業等の体験を共有しながら、これからの学びにおける課題や方向性を探っていきます。

2　5／29(金)
私にとっての「平和」とは？
講師：赤石和則・桜井高志
アカデミアの出発点としてのアジア学院での体験と参加者との出会いを、ワークショップを通して振り返ります。そして、具体的な講義を通しての学びを始めるために、「人」「人の関係」と「平和」というテーマに対しての仮説を深めていきます。

3　6／5(金)
地球社会における平和
講師：ポップ・ライツ
貧困・飢餓・環境破壊・人権侵害・民族紛争など、人類共通の地球的課題の諸問題を「平和」という視点から捉え直しながら、これからの地球社会における「平和」の意味を考えます。また、私たち一人一人が地球市民として生きていく際に求められる「平和」の有り様について検討します。

4　6／18(木)
開発と平和
～フィリピンにおける構造的暴力と自力更正～
講師：横山正樹
ガルトゥングが提唱した構造的暴力論を検討しながら、日本のODAの最大供与国の1つであるフィリピンにおける構造的暴力を検討していきます。さらに、構造的暴力を克服していくための「開発」や「援助」のあり方を「自力更正」という観点から考えます。

5　6／26(金)
環境と平和　～平和は最高の環境保護～
講師：さくらゆみ
核兵器開発のための核実験による放射能、ベトナム戦争の「枯れ葉作戦」で使われたダイオキシン、戦争は多くの命や富だけでなく環境も破壊します。戦争は環境破壊の最大の原因であるという観点から、環境保護の視点で平和のための活動について考えます。

6　7／10(金)
人権と平和
～南と北のこどもたち～
講師：横原彰
世界中の人が平和であるためには、誰もが等しく人間としての尊厳を保障されなければなりません。人権とは何か？人権が守られていない世界とはどのような世界なのか？「南」と「北」に暮らす人々とのつながりを視野に入れながら、それぞれの人権を確立するために何ができるのかを考えています。

7　7／17(金)
NGOと平和
～新しい平和づくりに向けて～
講師：上村英明・志田昇治・清水俊弘
国際協力や環境問題などの活動に取り組むNGOの関係者と共に、NGOの活動における「平和」の概念について考えます。具体的な実践事例に学びながら、新しい平和運動としてのNGO活動について話し合いたいと思います。

8　7／24(金)
市民と平和
～非暴力運動の思想と実践～
講師：阿木幸男
インドのガンジーが唱え実践した非暴力運動は、アメリカ公民権運動・ベトナム反戦運動の中で、暴力によらない市民の連帯行動として発展しました。暴力によらない問題解決、社会変革の思想と方法について、非暴力トレーニングを通して学びます。

9　7／31(金)
教育と平和
～教育に求められるものは～
講師：山西優二　他
世界大戦への反省から、ユネスコの主導のもと提唱されてきた国際理解教育・国際教育は「人の心の中に平和のとりでを築く」ためのものでした。開発教育・人権教育・環境教育なども、地球的市民の考え方につながるなら、平和のための教育と呼ぶことができます。ここではこのような教育の進展に向けて、今何が求められているのかを共に考えます。

10　9／11(金)
公開講座　～ルワンダの人々は今～
講師：湯本浩之
協賛：AMAHOROO
「AMAHOROO」とはルワンダの言葉で「平和」という意味です。同じ国の中で二つの部族が対立し、100万人以上とか虐殺されたといわれるルワンダ。その難民キャンプで救援活動を行い、現在はルワンダの復興と平和のために活動する湯本さんを迎えます。アフリカやアジアの経験を活かしたAMAHOROOによる実践らしい話題の紹介もあります。

11　9／26(土)～27(日)
秋合宿
～対立の解決と対話に向けて～
講師：三浦千秋
人間がいるところならどこでも「対立」が生まれます。生徒と教師、子と親、女性と男性といった立場に異なる個人の関係の中に生まれる対立を、平和的に解決し、対話を促していく「豊かな力」の育成の手法の学びながら、異文化や国家間の対立の解決についても考えていきます。また、前期の学びを振り返り、後期の共働学習に向けて準備を始めます。

12～20
10／9(金)・10／23(金)・11／6(金)・11／20(金)・12／4(金)・12／18(金)・1／8(金)・1／22(金)・2／5(金)
共働学習Ⅰ～Ⅸ
グループという学位での学びを通して、人と人とが協力することの意味を体験します。まず自分自身のテーマを明確にした上で、グループごとのテーマを決定し、共働作業に入ります。NGOや他団体の訪問を通しての学び、地域集会やイベントの企画など各グループ独自の活動が展開されます。グループにはアドバイザーがつき、活動をサポートします。

21　2／13(日)～14(日)
プレゼンテーション合宿
～明日から行動するために～
最終回は1泊2日の合宿を行います。10ヶ月間にわたる学びやグループ活動の成果を互いに発表し合い共有します。そこにはゴールではなく「通り」あなたがきっといるでしょう。あなたにとっての新たな課題や次なるステップへとつながっていきたいと思います。

※時間はいずれも午後7時～9時です。（合宿は別）